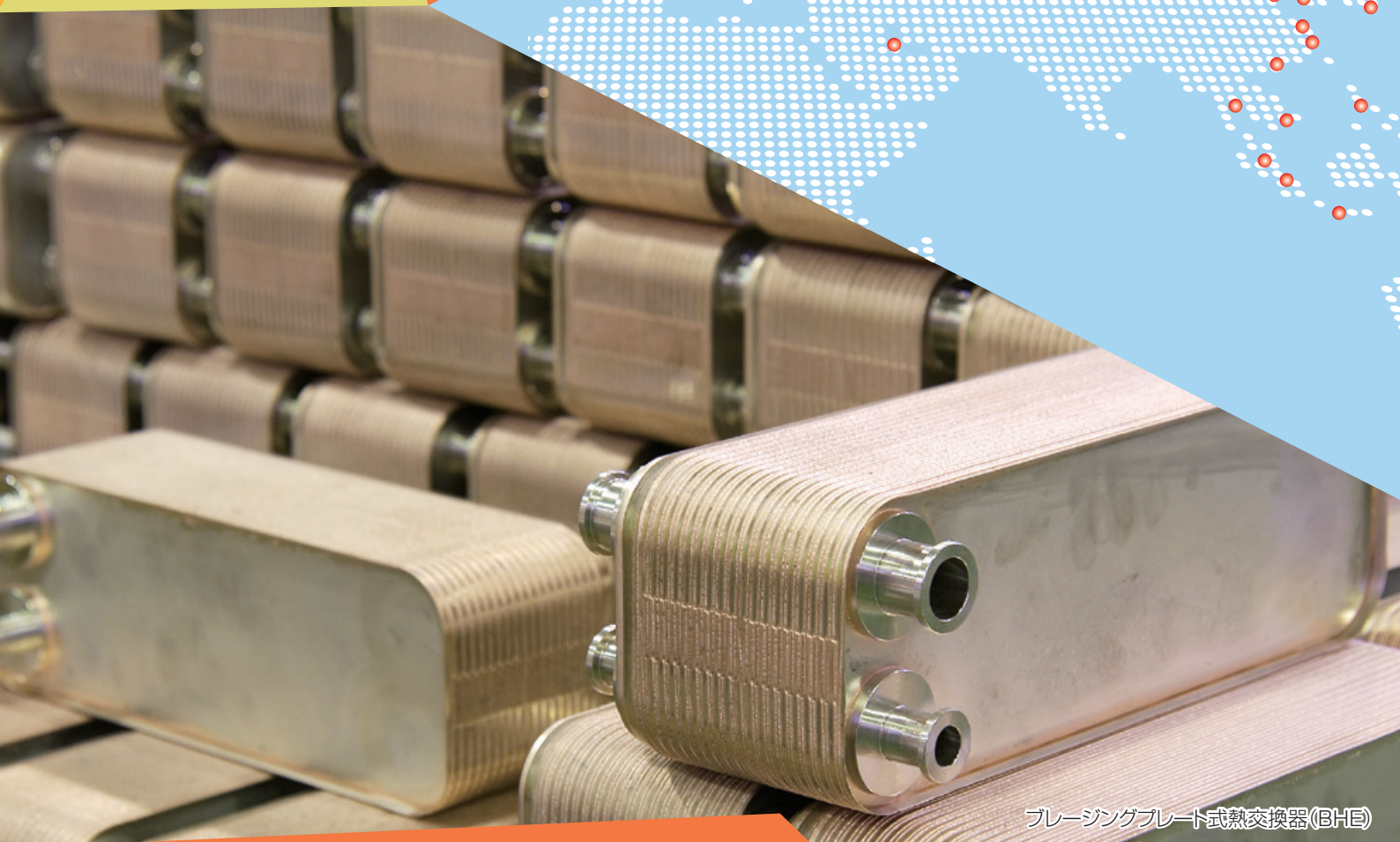


## 日阪通信

第94期 中間  
2022.4.1—2022.9.30

ブレージングプレート式熱交換器(BHE)

## BUSINESS REPORT

株主の皆さまへ

この度、第94期事業年度の上半期が終了いたしましたので、その概要をご報告申し上げます。

当上半期における世界経済は、エネルギー・原材料価格の高騰や食料の供給不足などから、減速感が高まる状況となりました。緩やかな改善傾向が続く国内経済も資源高や円安を背景とする物価上昇などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループの受注高は、熱交換器事業及びバルブ事業は好調に推移したものの、プロセスエンジニアリング事業において資材価格高騰などによる顧客の設備投資の見直しや延期、調達部品の納期長期化などがあったことにより、16,771百万円(前年同期比3.1%減)となりました。売上高は、バルブ事業が減収となったものの、熱交換器事業が好調に推移したほか、プロセスエンジニアリング事業で豊富な受注残があったことにより、15,555百万円(同11.4%増)となりました。

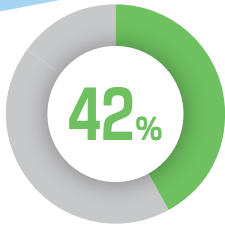
利益面では、売上が増加したことに加え、引当金の戻し入れがあったことなどにより、営業利益は1,021百万円(同45.7%増)となり、経常利益は1,375百万円(同46.8%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、897百万円(同30.1%増)となりました。

株主の皆さまには、何卒今後とも一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2022年12月 代表取締役社長

竹下好和



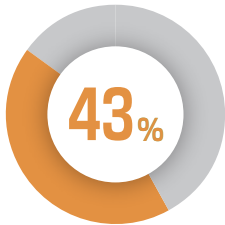
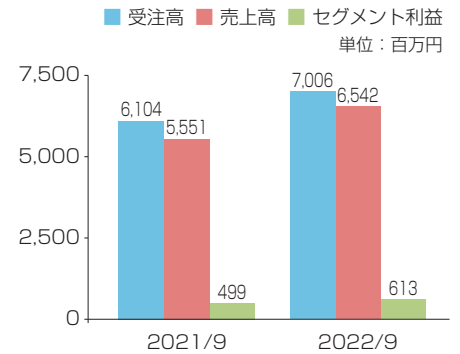
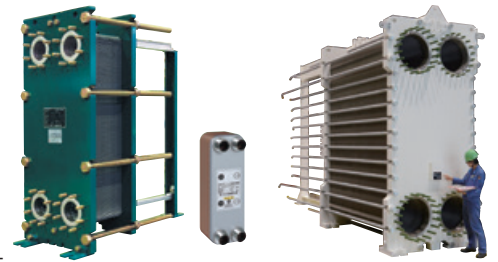
## 熱交換器事業

熱交換器事業は様々な産業で不可欠となる、流体の加熱・冷却を行うプレート式熱交換器などを製造・販売する事業です。

受注高は、7,006百万円（前年同期比14.8%増）となりました。半導体や空調向けの中小型汎用品、メンテナンスが好調に推移したなどにより増加となりました。

売上高は、6,542百万円（同17.8%増）となりました。受注同様に中小型汎用品やメンテナンスが好調に推移したほか、前年度に受注が回復した船舶向けが増加したことなどにより増収となりました。

セグメント利益は、売上が増加したことなどから、613百万円（同22.8%増）となりました。



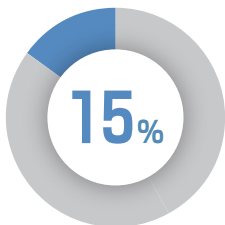
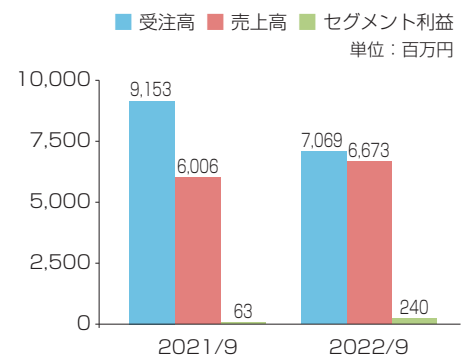
## プロセスエンジニアリング事業

プロセスエンジニアリング事業は、レトルト食品などの調理殺菌装置、医薬品の滅菌装置や培養装置及び繊維製品の染色仕上機器などを製造・販売する事業です。

受注高は、7,069百万円（前年同期比22.8%減）となりました。染色仕上機器の大口案件を受注しましたが、食品機器において顧客の設備投資の見直しや延期があったほか、前年同期に医薬機器の大口案件を受注した反動により、減少となりました。

売上高は、6,673百万円（同11.1%増）となりました。一部納期遅延の案件があったものの染色仕上機器の大口案件があったことなどにより増収となりました。

セグメント利益は、売上が増加したことに加え、引当金の戻し入れがあったことなどにより、240百万円（同280.9%増）となりました。



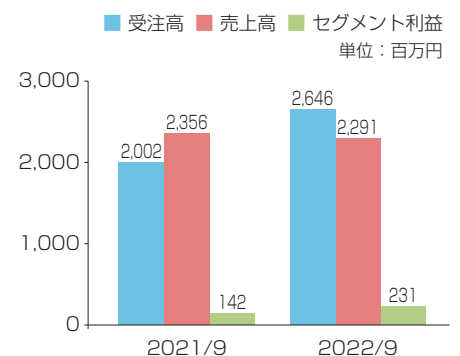
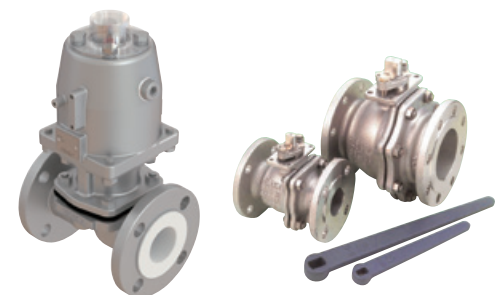
## バルブ事業

バルブ事業は、様々な流体の制御に使われるボールバルブなどを製造・販売する事業です。

受注高は、2,646百万円（前年同期比32.2%増）となりました。国内の在庫不足の影響による部材確保の動きの活発化などから引き合いが増加したことに加え、海外の化学向けに大口案件を受注したことなどにより増加となりました。

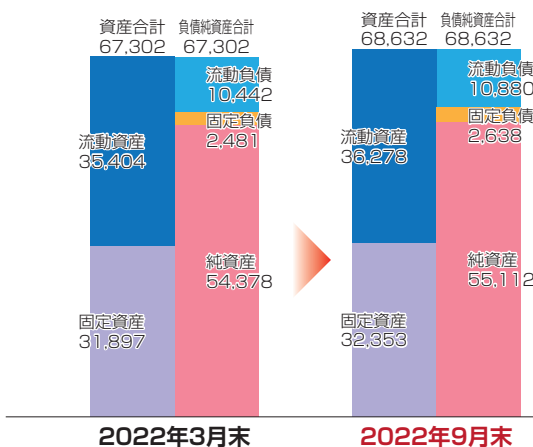
売上高は、2,291百万円（同2.8%減）となりました。足元の受注は堅調に推移しているものの、前年同期に化学向けの大口案件があった反動減により減収となりました。

セグメント利益は、低採算案件が減少したことなどにより、231百万円（同62.5%増）となりました。



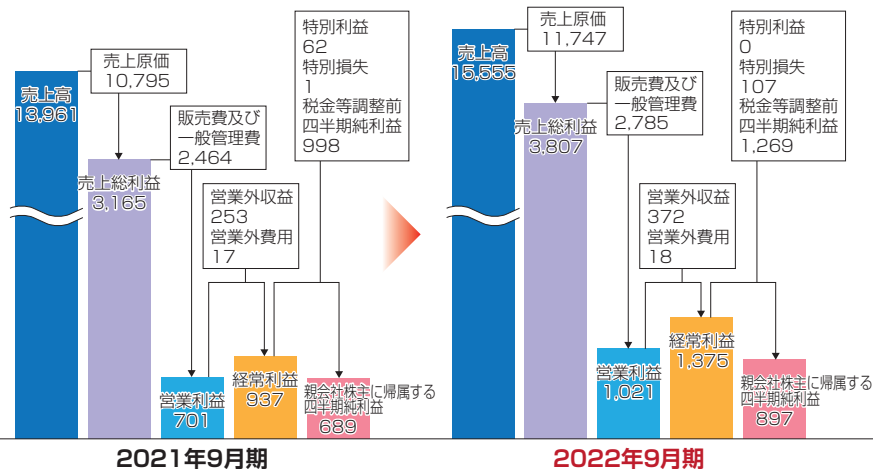
## 連結貸借対照表の概要

単位：百万円



## 連結損益計算書の概要

単位：百万円



## トピックス

## TOPICS



### ヒートポンプ向け熱交換器による環境への貢献

現在、カーボンニュートラル社会の実現に向け、化石燃料の使用量削減に向けた取り組みが世界中で加速しています。

空調や給湯器などの業界においても燃料を使用せず、電気のみで加熱・冷却するヒートポンプが注目されています。特に欧州では従来、ガスなどを燃焼させる空調・給湯機器が一般的に使用されてきましたが、環境意識の高まり、燃料価格高騰により、ヒートポンプ式空調・給湯機器の需要が急速に拡大、各空調・給湯機器メーカーも増産に向けて積極的な設備投資を行っています。

当社では、ヒートポンプに使用される熱交換器の一つとして、独自に開発したブレイジングプレート式熱交換器（BHE）の「BRC」を製造販売しています。BRCは内部構造に特徴があり、冷媒を均一に分布させることで、熱交換の効率を通常のBHEよりも高めています。これにより、熱交換器のサイズを軽量・小型化することができ、冷媒の使用量も削減されました。このような優れた性能が認められ、2018年に日刊工業新聞社主催の「超」モノづくり部品大賞 環境・資源エネルギー関連部品賞を受賞しています。

当社は今後、BRCの販売活動を強化するとともに、高性能な熱交換器の提供を通じてカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。



BRCの製品外観（左側）と内部のプレート（右側）



### 調理殺菌装置による食の安全・安心をアジアへ

中国では近年、食習慣の変化やコロナ禍による在宅ワークの増加などを受けて、加工食品の消費が拡大しています。

当社でも、中国や台湾、韓国の食品メーカーからレトルト食品の調理殺菌装置、無菌包装米飯（パックご飯）製造装置などを受注し、納品しました。また、東南アジアでも同様に加工食品の需要が高まっており、当社は今後も日本国内で豊富な実績のある食品調理殺菌装置の販売活動を強化してまいります。



レトルト調理殺菌装置 (RCS)



### コーポレートメッセージを策定

今年6月、コーポレートメッセージ「いけ、技術に想いをのせて」を策定しました。

当社は「技術」を磨き続ける産業機械メーカーです。その技術の背景には、あらゆる分野のニーズに寄り添い、安全・快適・便利を支え、社会の発展に寄与していくという「想い」が込められています。大きく変化を続ける社会においても、「想い」のこもった「技術」を駆使して、挑戦し続ける姿勢と未来へ躍進する勢いを「いけ」に表現しました。

持続可能な社会への貢献が必要とされるなか、より多くの皆様から共感・支持を得ながら成長していくため、このメッセージを活用し広報活動を強化してまいります。

いけ、技術に想いをのせて



(参考)

単位：百万円

| 区分                   | 年度 | 第92期中間期<br>(2020年9月期) | 第93期中間期<br>(2021年9月期) | 第94期中間期<br>(2022年9月期) | 第92期通期<br>(2021年3月期) | 第93期通期<br>(2022年3月期) | 第94期通期予想<br>(2023年3月期) |
|----------------------|----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|
| 受注高                  | 高  | 14,254                | 17,307                | 16,771                | 28,165               | 34,685               | 35,500                 |
| 売上高                  | 高  | 13,888                | 13,961                | 15,555                | 28,437               | 30,085               | 34,500                 |
| 営業利益                 | 益  | 866                   | 701                   | 1,021                 | 1,409                | 1,819                | 2,500                  |
| 経常利益                 | 益  | 1,050                 | 937                   | 1,375                 | 1,765                | 2,270                | 2,800                  |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 |    | 686                   | 689                   | 897                   | 1,212                | 2,058                | 2,230                  |
| 1株当たり四半期(当期)純利益(円)   |    | 24.44                 | 24.54                 | 31.87                 | 43.14                | 73.19                | 79.13                  |
| 総資産                  | 産  | 62,009                | 66,168                | 68,632                | 65,200               | 67,302               | —                      |
| 純資産                  | 産  | 52,159                | 53,897                | 55,112                | 53,335               | 54,378               | —                      |
| 1株当たり純資産(円)          |    | 1,851.58              | 1,910.58              | 1,950.97              | 1,893.12             | 1,927.39             | —                      |
| 年間1株当たり配当額(円)        |    | —                     | —                     | —                     | 30                   | 30                   | 40                     |
| 配当性向(%)              |    | —                     | —                     | —                     | 69.5                 | 41.0                 | 50.5                   |
| 純資産配当率・D O E (%)     |    | —                     | —                     | —                     | 1.6                  | 1.6                  | 2.1                    |

会社概要 (2022年9月30日現在)

社名 株式会社日阪製作所  
 HISAKA WORKS, LTD.  
 創業 1942年5月  
 資本金 41億5千万円  
 従業員数 連結946名 単体669名  
 本社所在地 大阪市北区曽根崎二丁目12番7号  
 支店・工場 東京支店(東京都中央区)  
 名古屋支店(愛知県名古屋市)  
 九州支店(福岡県福岡市)  
 北九州支店(福岡県北九州市)  
 鴻池事業所(大阪府東大阪市)  
 青梅事業所(東京都青梅市)  
 主要な子会社 マイクロゼロ株式会社(東京都立川市)  
 旭工業株式会社(東京都青梅市)  
 小松川化工機株式会社(東京都千代田区)  
 HISAKAWORKS S.E.A. SDN. BHD. (マレーシア)  
 日阪(中国)機械科技有限公司(中国)

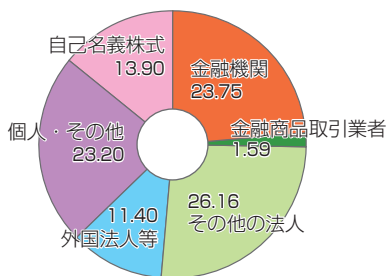
CORPORATE PROFILE

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長 社長執行役員 竹下好和  
 取締役 常務執行役員 太田光治  
 取締役 常務執行役員 飯塚正志  
 取締役 常務執行役員 船越俊之  
 取締役 常務執行役員 宇佐美俊哉  
 取締役(社外) 水元公二  
 取締役(社外) 角野佑子  
 取締役 常勤監査等委員 中道貢  
 取締役 監査等委員(社外) 仲井晃  
 取締役 監査等委員(社外) 藤田典之

株式状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 129,020,000株  
 発行済株式総数 32,732,800株  
 株主数 5,610名  
 所有者別持株比率(%)



大株主(上位10名)

| 株主名  | 持株数        | 持株比率  |
|--|------------|-------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                    | 2,603,000株 | 9.23% |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口)                         | 2,025,200株 | 7.18% |
| 日鉄ステンレス株式会社                                | 1,400,000株 | 4.96% |
| 日本生命保険相互会社                                 | 960,770株   | 3.40% |
| 株式会社三菱UFJ銀行                                | 912,640株   | 3.23% |
| 因幡電機産業株式会社                                 | 910,802株   | 3.23% |
| 日阪製作所協力業者持株会                               | 645,086株   | 2.28% |
| 株式会社タクマ                                    | 642,000株   | 2.27% |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103 | 624,518株   | 2.21% |
| 日阪製作所従業員持株会                                | 533,848株   | 1.89% |

(注) 自己株式(4,551,178株)は除外しております。

STOCK INFO.

株主メモ

|                     |  |
|---------------------|--|
| 事業年度                | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 期末配当金受領株主確定日        | 3月31日  |
| 中間配当金受領株主確定日        | 9月30日  |
| 定時株主総会              | 毎年6月   |
| 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 同連絡先                | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>〒541-8502大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>TEL 0120-094-777 (通話料無料)   |
| 上場証券取引所             | 東京証券取引所 プライム市場   |
| 公告の方法               | 電子公告<br>公告掲載URL <a href="https://www.hisaka.co.jp/">https://www.hisaka.co.jp/</a><br>ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |

SHAREHOLDERS MEMO

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。